

物品管理換照会システム

動作概要

- (1) 運用者 PC で物品管理換照会リストを作成（タブ区切りテキストファイル）
- (2) 運用者 PC で照会先メールアドレス、メールサーバなどの情報を埋め込んだ CGI を作成
- (3) リスト（タブ区切りテキスト）ファイル、CGI をサーバに転送
- (4) Web でリスト公開
- (5) 希望者が Web から申し込み
- (6) 申し込み者、照会先（運用者）へメール自動送信
- (7) 運用者が申し込み履歴（ログ）をサーバから採取

動作環境

・サーバ

http サーバ

CGI の動作が可能なこと

バージョン 5.004 以上の日本語 perl

Perl ネットワークモジュール libnet

jcode.pl（日本語コード変換を行うための Perl ライブラリ）

※日本語に対応するため、2 行目に次の一文を挿入

```
no I18N::Japanese;
```

管理用 PC との FTP が可能こと

SMTP サーバに対してメール送信指示できること

管理換用ユーザ'kanrigae'を作成

・運用者用 PC（管理換照会リストの公開担当者）

OS:Windows95/98

サーバとの FTP が可能なこと

手順に従い、Perl for Windows(Perl5)、Perl 日本語対応パッチをインストールすること。

公開ファイル

（運用者用 PC にインストール）

1.315j116b.exe —Perl 日本語対応差分

2.Pw32i316.exe —パソコン用 Perl

3.kanrigae.exe —物品管理換メンテナンスプログラム（自己解凍形式）

その他

4.物品管理換照会システム解説書

事前設定作業

サーバ側作業

1. 管理換照会システム用ユーザの作成

(1) サーバにユーザ 'kanrigae'を作成

※ユーザ'kanrigae'のホームディレクトリはデフォルトで/export/home/kanrigae

(2) ユーザ'kanrigae'のホームディレクトリにディレクトリ'public_html'を作成

(3) ユーザ'kanrigae'のホームディレクトリにシェルスクリプト'permit.sh'を作成する

permit.sh の内容

```
=====
#!/bin/sh
find public_html -name buppin.cgi -exec chmod 755 {} \;;
find public_html -name buppin_log -exec chmod 777 {} \;;
exit
=====
```

(4) ユーザ'kanrigae'のホームディレクトリの'.cshrc'末尾に次の2行を加える

```
=====
./permit.sh
logout
=====
```

※permit.sh は、./kanrigae ディレクトリにあるすべての buppin.cgi のモードを 777 に変更するシェル。物品管理換照会システムでは、ユーザ'kanrigae'でサーバに telnet でアクセスすると自動的にクライアント側からアップロードしたファイルの実行モードを変更し、そのままログアウトします。

(5) 管理換照会リスト公開用 Web ページの準備

2. 運用者用向け配布ファイルの作成

(1) 公開ファイル'kanrigae.exe'（自己解凍形式）を解凍

(2) 解凍後作成されたフォルダ'kanrigae'に含まれる config.txt を運用環境に合わせて編集

編集内容

- ・ホスト名→管理換照会システム用サーバのホスト名を記述
- ・ホームディレクトリ→サーバに作成したディレクトリ'public_html'のフルパスを記述。デフォルトでは/export/home/kanrigae/public_html

(3) 同じく解凍された buppin.cgi を必要に応じて修正

1行目 perl のパス指定を確認、修正。

(4) 'kanrigae'フォルダを再び自己解凍ファイル'kanrigae.exe'に作成

3. 運用者向け配布ファイルの公開

(1) 運用者向けに以下の3つのファイルを配布・公開

1.315j116b.exe — Perl 日本語対応差分

2.Pw32i316.exe — パソコン用 Perl

3.kanrigae.exe — 上記2 (3) で作成した物品管理換メンテナンスプログラム

その他運用手順書の公開